

他 福智町防災講演会 人事ではない災害への備えを学習

福智町防災の日に合わせて、町主催の防災講演会が7月23日に地域交流センターで行われました。阪神・淡路大震災を経験した栗木剛さんが会場の約400人に災害時の備えについて講演。災害時には物流が止まり、被災地以外にも影響が出ることなどをユーモアを交えた話術で講演し、参加者の防災意識を高めました。



↑ ステージを降りて、参加者と同じ目線でマイクを使わずに講演を行った栗木さん。

↓ 日本滞在の最後の夜に、ふれあい塾での花火で別れを惜しむ子どもたち。



上 福智町日韓交流事業 野焼がつないだ海を越えた友情

上野焼のルーツである韓国泗川市から東城初等学校の児童22人が、8月2日から3日間、福智町を訪れました。上野焼400年祭を期に始まった交流に、今年は福智町の5・6年生14人が参加。川下りや動物園などの観光をはじめ、3日間寝食を共にし、同じ時間を過ごした両国の児童には確かな友情が生まれました。

↓ 唄える人が途絶えたとされていた「方城非常唄」を音源から復活させ総踊り。



歴 山神大盆踊り大会 歴史と祈りを未来に伝える夏祭り

事故後100年が過ぎた日本最大の炭鉱爆発事故「方城大非常」の犠牲者を追悼する盆踊りが方城体育館で8月6日に開催されました。伊方出身の大石勇介さんが地区の清掃で慰霊碑を見つけたことから発案し、地域や企業からの賛同を得て実現。民謡や楽器演奏も披露され、多くの参加者を集めた夏祭りは大盛況となりました。

竹 福智町バンパー・スペース・プロジェクト 竹林に囲まれた手づくりの野外フェス

草場地区出身の日高将博さん宅の竹林で、8月6日に森の音楽祭が行われました。日高さんが地域を活性化させたいとの思いから、東京で出会った大学生と企画し、地域の協力を受け自宅横の竹林を会場に整備。創出したスペースには露店も立ち並び、訪れた人は音楽と森林が相まった風情のある空間を楽しむことができました。



↑ 竹チェロの演奏や民謡バンドなど、ジャンルを超えた5組のアーティストが参加。

↓ 福智町役場には平元くんが小学生時代に所属した「金田Jrクラブ」のメンバーも駆けつけ大声援。



福 福智町出身の2人が甲子園出場 福智の投手が夢の舞台で躍動

夏の甲子園決勝で広島県代表の広陵高校のエースとして先発する平元銀次郎くん(金田)を応援するため、8月23日に役場と金田中で公開テレビ観戦が開催されました。試合には惜しくも敗れましたが、観客は試合終了まで声援を送り続け健闘を讃えました。今大会には早稲田佐賀高校の安在悠馬くん(赤池)も出場。福智出身の選手の活躍に町全体が沸きました。

沖 沖縄平和学習「少年の翼」 縄で平和を心に刻む交流

今回で23回目を迎える沖縄平和学習が7月29日から3日間行われ、町内の5・6年生26人が参加しました。児童は福智町の兄弟都市である中城村でホームステイをし交流を深め、名所を巡り琉球文化を体験。最終日には平和祈念公園やひめゆりの塔など各所で沖縄戦の悲惨な記録をたどり、平和の尊さを学習しました。



↑ 被爆地の広島・長崎と沖縄の戦火を合火して灯す燭台の説明を受ける児童。

↓ 筑後市で7月12日に行われた第55回こどもの交通安全大会の表彰式。



児 市場小が4年連続で交通安全最優秀賞 児童主体で広げてきた交通安全運動

学校全体で取り組む運動が評価され、市場小が学童交通安全実践優秀校の最優秀賞を4年連続で受賞しました。6年生全員で組織した「交通安全・あいさつ児童隊」を中心に、分団での登下校や月3回のあいさつ運動などを教員や保護者と連携しながら実施。多くの人の安全意識を高めることを目標に、今後も活動を続けます。